#### ICCE一TWに参加

#### 田中教授と張君 7月17-19日



るので、それで往復するこ 真が、桜島上空です。 発がさらに遅れたため、 岡山が午後4時前で、 しました。一番上の写

園国際空港に着いたのは午 時を回っていました

た。高速鉄道 その1つは、

うバスで、 思いますが、台湾のほぼ南 聞いたことがない地名だと 私の住む岡山からタイガーか、いろいろ検討した結果、 端のバシー海峡に面したと が台北に1日1便飛んでい エアというLCCの直行便 うバスで、2時間半かかりから墾丁エクスプレスとい ころにあり、高雄(左営) どうやってここまで行く 装もよく似ていました。 少し古びた印象でしたが内 日本・日立製の新幹線で、 示、3枚目は車両の中です。 番席) のみはシートがなく、 もっとも左営寄り

 $\widehat{1}$ た

## 左営からホテルへ

先方から使ってきました。 度使われるか興味がありま 翻訳システムがどの程 旅行だったので、 の旅行は久しぶり 私が思った以上に タクシーの運転手さん 否がないか心配でしたが、 いからなどと言って乗車拒 のお世話になりました。近 クシー乗り場からタクシー になっていたので、 ありそうで、時間も晩10時 からホテルまで2キロほど



681 20:10

た。2時間半の、 ぐに他の乗客も並びま 番が8時半発で、それに乗 時間半のバス旅です。 したが、我々が並ぶと、 るために早めに駅に着きま バス旅は、 休憩なし 朝

しました。私は妻同伴でし を持っている人はビザが下 の論文を出していました きました。また、張君は別 中は現地に行って発表して 彼はオンライン参加 17日から 田 Pで予約するという仕組みら外国人用に安くなっていら外国人用に安くなっていめ、 のが国人用に安くなっていめ、 でした。 ので、 りにくいところでしたが、 いました。鉄道はあらかじ というのが最初は少し かってしまえばあとは それには余裕で間に合 スマホで予約を変更 購入と予約が わかねか々

中国本土のパスポー

19日まで、台湾の銀国際会議が、7月17

台湾の墾丁

家電

に関するIEEEの (Consumer Electro 概

予約していた、高速鉄道

に遅れそうになったていた、高速鉄道(新

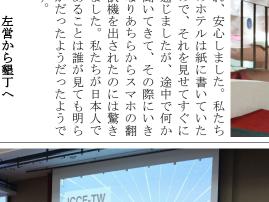
.ティン)で開催され、



墾丁とは大抵の日本人は

2枚目の写真は駅での表

駅のタ かだったようだったようであることは誰が見ても明ら 通じましたが、途中で何かので、それを見せてすぐに 訳機を出されたのには驚き なりあちらからスマホの ました。私たちが日本人で 聞いてきて、その際にいき のホテルは紙に書いていたれ、安心しました。私たち 翻





今回の最も心配した、 2

> 宮に向かい、そのまま直接 Jエクスプレスで発って左

速鉄道で台北に向かい、

ら空港に向かいました。 ての日は台北泊、翌日朝か

ひと言で感想

甲南大学知能情報学部田中研究室

到着しました。 途中でもよおしたらどうし トイレが最も心配で、 何とか事なきを得て と妻と話していまし 万

近を回るシャトルバスに乗 学会会場へ直行、妻は、 のまま会場のホテルのクロ 取っていたのですが、 って観光し、 たちのホテルには寄らずそ 少々贅沢でしたので、 したのが11時なので、 ・クに荷物を預けて、私は 学会の開かれるホテルは 海岸の小さなホテルを 夕方落ちあ 自分 到着 我々 づらいものでした。 話の内容はなかなか理解 が実に聞きにく

発表、そして、 発表があり、 ッションは、 表がありました。 張君のオンライン 類似の研究のした。張君のセ 興味深いもの 私の対面発

気の中で図書館入館システってもらえて、優しい雰囲迎い入れてくれ、興味も持 ッションの人たちは暖 な印象はあったもの れてあり、ちょっと場違 ことができました。 ムを、 のようなものの中に組み オーガナイズドセッショ 私の発表は、グルー Oか、違みンプ

2日目の様子

久しぶりの海外は、

大学から6人の学生を連れ 旧まっていたホテルで岡山 を忘れたのが残念です)。 rに同伴しました。台湾の ンケットで、妻もバンケッ いました。弁当ですが、味 ました。毎日昼食がついて した(料理の写真を撮るの **ジしい料理などを堪能しま** 無でした。また、夕方はバ は日本のものとは違い、新 -クをきいたりして過ごし 2日目は、プレナリー

日には早めに現地を再び墾 に余裕がないのでしょう クットに出ずに、2日目の いましたが、なんと、バン てきたという先生と知り合 に。日本ってなんでこんな 朝に現地を発っていまし そういう私たちも、3日



後の写真は、駅前の公園に ましたが、場所が辺鄙すぎ なところでやってくださ り羽を伸ばした気分でし いた台湾リス。 んでした。次はもっと便利 て、日程が楽ではありませ りいいものです。思いっき 次の写真は、台北駅、最 気持ちはゆっくりでき



# 第 123 号

7月28日発行 2023年

責

http://carnation.is.konan-u.ac. ほぼ毎月発行

でしたが、 ほとんどの発表

#### 国際交流

## Alf Isaksson氏来討

フ 月 フ

日 世界企業である、 Ā f

I s a k

s

0

もらいました。

I F

ました。 の研究員であるAli 流基金をもとに本学を訪問 し、半日の国際交流を行 saksson氏が国際交 デンABBの研究所AB スウェ チ社

そこでIFACのフェロー 行われるIFAC を授与されたという報告を 加したのですが、 C o n g r 横浜で翌週 e s s に W О います。

d

交流のあと、

かったと我ながら感心し く今までつながりが切れな たAlfが質問をしてくれ 私が発表し、その会場にい ニア)でのIFACでした。 990年のタリン(エスト は私より3歳年下です。 たのが話すきっかけでし とAlfとの出会いも、 盛大に行われたようです 実のところ、筆者(田中) 時私は34歳、 題だけでなく、

今回は天皇ご夫妻を迎えて A C t **今回私がIFACに行かな** 

から、 加の理由は、 から、旧知の先生もいるし、が、私のルーツは制御です らは離れた研究をしていま のも確かです。ただ、不参 どのレベ 天皇ご夫妻も参加されるほ つもりはありませんでした すので、今回積極的に 私自身は、 できれば出たかった ルの高い学会です 研究分野の 制御の分野 くく

のは、やはり日本経済がそ ら、昨今、 カュ み7~10万円くらいするの 30年以上前でも確か5万円 れだけ弱くなったからなの ももっともなことです。 くらいはしていましたか りました。 それを高いと感じる 国際会議が軒並 考えてみると、

参加費が

万円を超えるという点にあ

しよう。

いますが、4回生にはなか

回生4名の研究紹介をしま

張君は英語は慣れて

研究室の張君と、

なか英語での説明は大変だ

たようです。

それでも、

ポールに一人(インドネ

ア人)、

カナダに一人(中

国人)、シドニーにホ

ステイしたときのホスト

アミリーなどがいて、

会お

ま

です。 してくれますが、アジアで 表などをするための補助は する必要があ 張に慎重にならざるを得ま す。そのため、 ことができればそれなりに しになります に5万円も10万円も持ち出 算を併用することは厳禁で 意味がありますが、他の予 20万円、それ以外で25万円 本学では、外国で学会発 他の予算を併用する から、外国出 通常、 確実 駅で別れを惜しみました。 楽園を散策し、 泊は田中のマンションのゲ 賞味してもらいました。 ッパ人には珍しい焼き鳥を 待し、 何らかの自信にはなったの 日は、午前中に岡山城と後 ストルームとしました。 ではないでしょうか。 その後、学校をあとにし 岡山の田中の自宅に招



以外に、 取りました。 生にも、ご自分の研究室の ていただき、Alfの講演 生にはランチからご一緒し 研究を紹介していただき、 先生方もありましたが、 念ながら参加できなかった クトのイベントもあり、 それに対してコメントをA のあとは私を含むこの 田先生、梅谷先生、 fからもらうという形を 当日はプレミアプロジ 灘本先生、 北村先 永田先 4 名 和

少し時間を長めにとって研 究に関するディスカッシ 在中のファテイフ先生には 次に、トルコから長期滞

〇右中は岡山城。

〇右下は後楽園

私のマン

シ ョ

ろうと思ったため、家でゆ この30年の間のアルバムを らなかったのは残念です。 かったのですが、彼が日本のイベントをやったのはよ 見てもよかっただろうなと でしたので、 つくりと話をする時間をと に到着してからまだ2泊目 彼とは話すこと 疲れがあるだ

ミ室で、

いろいろと盛りだくさん 妻も同行し、ヨー 彼とは岡山 꽢 から積極的にクリス とが気になります。外国 会うことがあるかというこ 彼らと続いているの とんど連絡がありませ すが、分かれてからは、 うと思えば会いに行 たからだと思います。 は最大限に歓迎してくれ す。この歳になると、今後、 ルなどで関係を繋 般に、 がありません。都迎してくれまなったときに、 け

### 写真の説明

ださったのは確か梅谷先生 れ以外に、写真を撮ってく るのは、彼の講演中。 ○上右のマイクを持って だったと思います。 フ先生以外は田中研のメ ○大きな写真:田中研 結構国際的です。 Alfとファテ いでき 0 イ 国からの客人、そして自身 あります。そういう私も、 も外国人として外国に出か いたのですが、7月には外 しもって日本人化を深めて ほかになすすべもなく閉じ



田中研4

その点が心残りです。 人の友人は彼以外に、 とブルガリア人) リスに二人(ポーランド がたくさんあったと思 今もつながっている外国 ` シンガ

-SIで発表用予定 編集後記

個人的な感じ方です)にな もなくいろいろなことでの るような世界 (これは私の り恐れ、冒険もできず、日 のた補助金)の末、さらに 態宣言のときの休業補償そ 棚助金を取ることが当然の りました。お金は恥も外見 4人同士、監視しあってい 口本は縮退し、失敗を何よ こととなってしまった感が に出ることもなく、なけな の金の取り合い(緊急事 いの日本人は日本から外 この3年半の期間、たい

私

レッジで講義▼12月14日~ 合同研究会▼12月5日 ヘテムを芦川君が実演▼10 開かれ、張君と田中教授が ンパスで、張君がシニアカ 甲中教授と院生、SICE 中教授、神戸市シルバーカ 教授、張君、鹿児島大学と 研究指導▼11月24日 田中 月11日 田中教授、近大で **ヤヤンパスで、荻野君のシ** 発表▼9月17日 オープン ロ電気学会C部門が札幌で -講演▼8月30日~9月1 AITで田中教授プレナリ ▼8月28日 国際会議AT の作成したシステムを実演 の実演と芦川君が荻野君

田 や研究室を訪問したり、あ 可です。また、その間のこ バックパッカーになり、い とがわかったら十分です。 とをいちいちレポートさせ 国を自分の力だけでぶらつ 職員も) は、1カ月ほど外 ない。自分でいろいろなこ す。ツアーで行くことは不 ままで気になっていた大学 いてくることを提案しま まずは、 大学人(教員も

地元の乗り物に乗っていっ と思っていた人はそこまで るいは世界の果てを見たい

てみたり。 私は、気持ちだけは元気 いくらでも歩ける気が

## 予定

オープンキャ

強く監視しあっているため でいる場合ではないと思う 多いこと!それを見て喜 くっている外国人の動 のですが。狭い社会の中で 一ブ画像で、日本を誉めま 日本礼賛のユーチュ

す。こんなことでいいはず はないと思います。 すべて中で消耗していま に、外に向けた力が出ず、

まだ何をするか決まってい に迫りましたが、そのあと、 すが、それはそういう理由 と思います。会う人会う人 てみたいです。この元気さ ません。何もなかったら外 からです。退職も1年半後 ていますね!」と言われま に、「先生、ずいぶん焼け と畑をやってきたおかげか は、コロナ禍の間に山歩き していますので、ぜひ行っ

ないかと心配しています。 できなくなっているのでは さいことをあまりにも慎重 になって臆病になり、何も の力は非常に強く、日本 そういう中で、我々、小 いる外国人まで引きずり なったような気がしま いくらか気分が外向き 日本人化させてい はて、 だけません。私は、豪華客 ティアですが、できません。 高級外車に乗ったりして金 国をぶらつこうかな、と思 ん。理想はスーパーボラン をしたいわけでもありませ が(退職後のマイカーは まり魅力は感じていません ラスの飛行機に乗ったり、 船に乗ったり、ビジネスク いますが、この円安はいた トラか?)、 持ちのふりをすることにあ 何をしようかな? 逆に貧乏旅